

# セミナー受講報告

## プロジェクトマネージャ試験 対策講座

2015/03/25 中橋

# 午後II問題形式

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。（制限時間：120分）

---

## 【設問ア】

あなたが携わったシステム開発プロジェクトにおける、プロジェクトとしての特徴及びシステム化に関する要求の特徴について、800字位内で述べよ。

## 【設問イ】

設問アで述べたシステムにおいて要件を定義する際に、要件の膨張を防ぐために計画した対応策は何か。対応策の実施状況と評価を含め、**800字以上1600字以内**で具体的に述べよ。

---

## 【設問ウ】

設問アで述べたプロジェクトにおいて要件を定義する際に、要件の定義漏れや定義誤りなどの不備を防ぐために計画した対応策は何か。対応策の実施状況と評価を含め、**600字以上1200字以内**で具体的に述べよ。

28000字を2時間で書く！

1文字あたり2.5  
秒！

# 解き方

## 【設問イ】

設問アで述べたシステムにおいて要件を定義する際に、要件の膨張を防ぐために計画した対応策は何か。対応策の実施状況と評価を含め、800字以上1600字以内で具体的に述べよ。

## 第2章 要件の膨張を防ぐために計画した対応策

### 2. 1 計画した対応策

### 2. 2 対応策の実施状況と評価

## 問1 システム開発プロジェクトにおける要件定義のマネジメントについて

プロジェクトマネージャには、システム化に関する要求を実現するため、要求を要件として明確に定義できるように、プロジェクトをマネジメントすることが求められる。

システム化に関する要求は従来に比べ、複雑化かつ多様化している。このような要求を要件として定義する際、要求を詳細にする過程や新たな要求の追加に対処する過程などで要件が膨張する場合がある。また、要件定義工程では要件の定義漏れや定義誤りなどの不備に気付かず、要件定義後の工程でそれらの不備が判明する場合もある。このようなことが起こると、プロジェクトの立上げ時に承認された個別システム化計画書に記載されている予算限度額や完了時期などの条件を満たせなくなるおそれがある。

要件の膨張を防ぐためには、例えば、次のような対応策を計画し、実施することが重要である。

- ・ 要求の優先順位を決定する仕組みの構築
- ・ 要件の確定に関する承認体制の構築

また、要件の定義漏れや定義誤りなどの不備を防ぐためには、過去のプロジェクトを参考にチェックリストを整備して活用したり、プロトタイプを用いたりするなどの対応策を計画し、実施することが有効である。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わったシステム開発プロジェクトにおける、プロジェクトとしての特徴、及びシステム化に関する要求の特徴について、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べたプロジェクトにおいて要件を定義する際に、要件の膨張を防ぐために計画した対応策は何か。対応策の実施状況と評価を含め、800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問アで述べたプロジェクトにおいて要件を定義する際に、要件の定義漏れや定義誤りなどの不備を防ぐために計画した対応策は何か。対応策の実施状況と評価を含め、600字以上1,200字以内で具体的に述べよ。

## 第2章 要件の膨張を防ぐために計画した対応策

### 2. 1 計画した対応策

要求の優先順位を決定する仕組みの構築

→ (1) システム化の方針説明

要件の確定に関する承認体制の構築

→ (2) 仕様確定レビューの実施

### 2. 2 対応策の実施状況と評価



## 第2章 要件の膨張を防ぐために計画した対応策

### 2. 1 計画した対応策

(1) システム化の方針説明

300文字～400文字

(2) 仕様確定レビューの実施

300文字～400文字

### 2. 2 対応策の実施状況と評価

300文字～400文字

**800文字～1600文字到達！！**

# 合格論文の条件

- 設問で指定された要求事項について論述している
- 問題文の誘導に乗って論述している
- 具体的なシステムや業務、実施した方策に言及している
- 指定された文字数の範囲を守っている

# 午後II問題形式

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。（制限時間：120分）